

学校だより ~3月特別号~

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daigonishi-s/>
E-Mail daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp

〒601-1378 京都市伏見区醍醐川久保町1 TEL571-0221 fax571-4629

令和6年3月8日
京都市立醍醐西小学校
校長 森川 浩孝



令和5年度 第2回学校評価について

保護者の皆様にはお忙しい中、1月に実施いたしました「学校評価」のアンケートにご協力いただきありがとうございます。また、児童には日頃の学習や学校生活の様子についてふり返り、自己評価を実施いたしました。保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、108通の回答をいただきました。



児童と保護者で同じ内容のアンケート項目<上段:児童 下段:保護者> ※左から①…そう思う ②大体そう思う ③あまり思わない ④思わない				保護者の方・地域の方へのアンケート項目			
1. 楽しく学校へ通えています。	57.0%	33.6%	6.3%	9. 学校でほめられます。	33.6%	39.1%	21.9%
1.お子たちは、楽しく学校へ通っていますか。	53.7%	42.6%	3.5%	10.おうちでほめられます。	46.9%	28.1%	14.1%
2.自分からあいさつしています。	36.7%	33.6%	21.9%	9.ご家庭で、お子たちをほめていますか。	34.3%	51.9%	13.9%
2.お子たちは、自分からあいさつをしていますか。	23.1%	42.6%	28.7%	11.学校の勉強はわかりやすく楽しいです。	46.1%	35.9%	13.3%
3.正しいことばづかいで話しています。	32.0%	32.0%	21.1%	10.お子たちは、学校の勉強が分かりやすく楽しそうですか。	24.3%	54.2%	18.7%
3.お子たちは、正しい言葉づかいで話していますか。	14.8%	42.6%	32.4%	12.おうちを学習しやすいように整理整頓しています。	32.8%	30.5%	29.7%
4.友だちと仲よくすごしています。	71.9%	22.7%	3.1%	13.ご家庭の学習環境は整っていますか。	19.4%	50.0%	25.9%
4.お子たちは、友だちと仲よくすごしていますか。	39.8%	56.5%	3.7%	13.「早ね・早起き・朝ごはん」ができます。	31.3%	30.5%	22.7%
5.学校でのできごとを自分から家人に話しています。	42.2%	28.1%	17.2%	14.お子たちは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活習慣が身についていますか。	25.9%	37.0%	27.8%
5.お子たちは、学校での様子を家で伝えていますか。	34.3%	46.3%	15.7%	14.ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っています。	38.3%	26.6%	14.1%
6.学校やクラスの約束を守っています。	33.6%	43.0%	18.0%	15.お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。	19.4%	25.0%	36.1%
6.お子たちは、学校や学級の約束を守っていますか。	29.9%	52.3%	14.0%	15.行事や部活動をがんばっています。	70.3%	24.2%	3.1%
7.こまつことをそだんできる人がいます。	57.8%	15.6%	14.8%	16.学校の行事や部活動は、子どもたちにとって有意義なものになっていますか。	45.4%	51.9%	2.8%
7.お子たちは、困つことを相談できる相手がいますか。	44.4%	50.9%	2.8%	16.いじめや仲間はずれをしていません。	71.1%	18.8%	6.3%
8.将来の夢をもっています。	77.2%	12.6%	5.5%	18.いじめや仲間はずれのない学校づくりができますか。	23.1%	64.8%	10.2%
8.お子たちは、将来の夢をもっていますか。	36.1%	43.5%	16.7%				

第2回学校評価(1月)の分析・考察

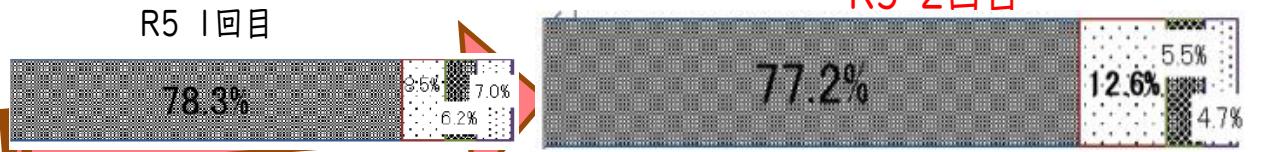
今回の分析は、昨年7月に実施しました第1回学校評価アンケートと比較し、「そう思う」「大体そう思う」にお答えいただいたものをもとに、ランキング形式でお知らせします。

【第1回(7月)学校評価と比較 up 編】

No.1

児童 8. 将来の夢をもっています。

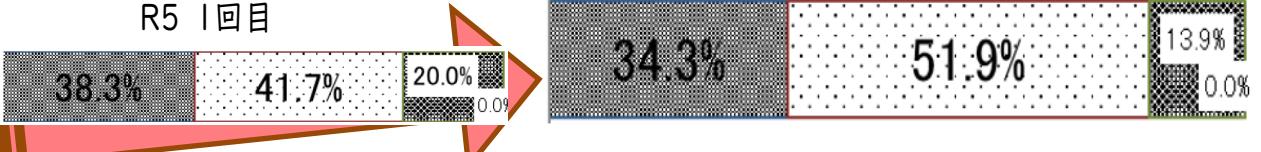
R5 1回目



3.0%
UP

保護者 9. ご家庭で、お子たちをほめていただいているか。

R5 1回目



6.2%
UP

児童への設問については、「将来の夢をもっているかどうか」に対して、A/B(そう思う/大体そう思う)の割合が全体の90%近くを占めており、前回より8%を超えた回答となっています。特に高学年になるほど、将来の夢をもっていると回答した率が高いでです。これは、かがやき学習(3年生から学んでいる『総合的な学習の時間』の総称)で、『人権』に対する意識が向上し、今の自分を見つめなおしながら将来の自分にできることをじっくり考えてきた結果の表れかと考えられます。この子どもたちが、将来の夢について安心して考えられる要素として、「授業(学習)が楽しく分かりやすいこと」と「信頼できる仲間がいること」の2つが充実することも大切だと考えています。引き続き、子どもたちをしっかり見守り、声をかけていきたいと思います。

また、保護者の方への設問については、「ご家庭でお子たちをほめていただいているか」に対して、前回を6%以上も上回る回答となりました。前回の学校評価の結果でもお伝えしましたが、子どもたちへの温かいほめ言葉が直接的に子どもの心に響き、やる気から行動したくなる気持ちにつながっています。

【第1回(7月)学校評価と比較 down 編】

No.1

児童

14.ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っています。

R5 1回目



11.8%
Down

保護者

15.お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。

R5 1回目



10.4%
Down

児童・保護者共に、「ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っていますか。」で守っているとの回答が双方ともに10%以上、下回っています。ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSの使い方については、基本的生活習慣の確立にも大きく関わっています。子ども達の会話の中にも「ゲームをして、寝る時刻が遅くなった。」といったことがよく聞かれます。また、ゲーム・スマートフォン・インターネット・SNSは、『子どもたちのよりよい仲間づくり』にも大きく関わってきます。ぜひご家庭でもスマートフォンやインターネット、ゲーム、SNS等の使い方等で再度話し合ったり、ルールを決めたりしていただきますようお願いします。

ココに注目①

メディアの使用時間が改善されつつあります！

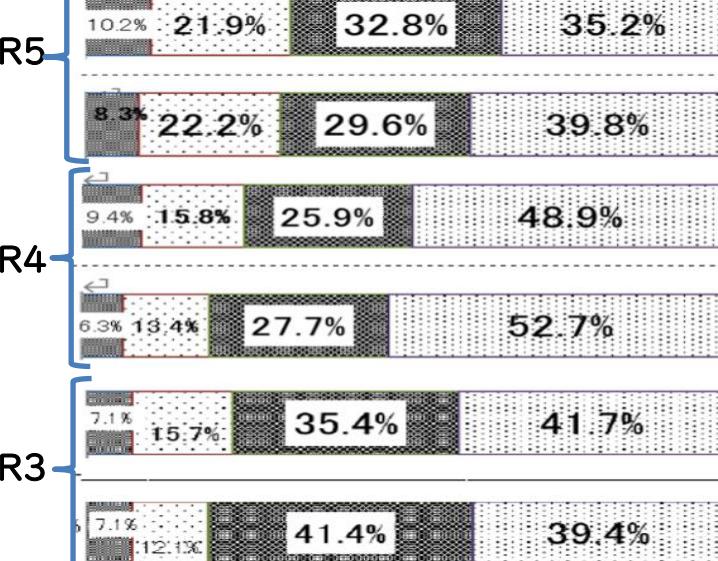
—この3年の傾向からみえること—

設問20. ゲームやスマートフォンなどを1日に使う時間はどれくらいですか。

設問25. お子たちのゲームやスマートフォン等の1日の使用時間はどれくらいですか。

<①全く使わない ②60分未満 ③60~120分 ④120分以上>

児童(上段) 保護者(下段) :



左のグラフの通り、昨年度・一昨年度の同時期の結果に比べ、保護者、児童ともに毎日60分以上ゲームやスマートフォンを使用している割合(回答③④)が10%以上低くなっています。この要因として、メディア機器の使い方について考える『メディアコントロール』の取組について、子どもたちを中心に一定の成果がみられていると考えられます。

ここで再度、メディアの使い過ぎによって起きる、良くない影響をお伝えしますのでご確認ください。

- ① 学力への影響
- ② 健康・生活習慣への影響
- ③ トラブルを起こしたり、巻き込まれたりする危険性
- ④ 依存症

子どもたちも我々大人も、メディアにはこれらの危険性があるということを常々意識しつつ、子どもたちに自分で使用時間をコントロールできることが、自分のためになるということをこれからも発信し続けていきたいと思います。

ココに注目②

家庭学習の時間が減少傾向です！

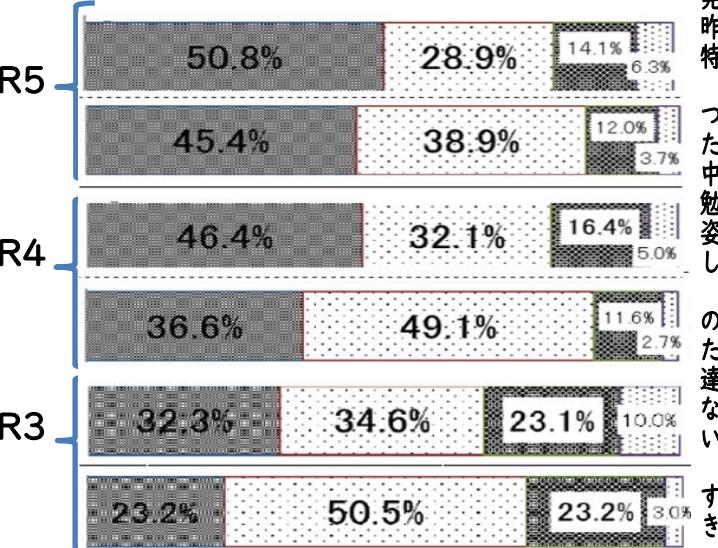
—この3年の傾向からみえること—

設問17. 家で学習している時間はどれくらいですか。

設問22. お子たちの家庭での学習時間はどれくらいですか。

<①0~30分 ②30~60分 ③60~90分 ④90分以上>

児童(上段) 保護者(下段) :



低学年は30分以上、中学年は60分以上、高学年は90分以上と、発達に応じて学習時間のめやすを設けていますが、左のグラフの通り、昨年度・一昨年度の同時期の結果に比べ、学習時間が減っています。特に、高学年が顕著です。

家庭学習の習慣づけは、小学生の低学年の間に机の前に座る習慣をつけることが大切です。その習慣がついていなければ、高学年になった時、中学生になった時、いざ勉強をしようと思っても、なかなか集中して学習に取り組むことができません。また机を前にしても「何を勉強したらいいのか」が思いつきません。中学生になってそのような姿では、高校進学を目の前にして自分の望む学校に進学することが厳しくなってしまうことにもなりかねません。

子ども達が、家庭学習の習慣を身につけることができるよう、「どのように時間を有効に使うのか。」また「宿題以外にどんな勉強をしたらいいのか。」を具体的に考えさせていきたいと思います。子ども達が『なりたい自分になるために』は、自学自習ができる力は欠かせないものだと思います。ご家庭でも、お声かけのほど、よろしくお願いします。

なお、来年度も『家庭学習の手引き～自学自習にむけて～』を配布する予定です。家庭学習の定着に向けて各家庭でも参考にしていただきたいと考えています。

自由記述欄に頂いたご意見・ご質問

・メディアコントロールが難しいです。メディア以外の楽しみも見つけていってほしいと伝えています。

⇒お子さんとともに取り組んでいただき、ありがとうございます。「メディアコントロール」の取組も、今後より子どもたちが常に意識できるように、栗陵中学校ブロックと相談しつつ考えていきたいと思っています。これらの取組は学校だけでは成り立ちません。子どもたちは、おうちの方のメディアの使い方もよく見ています。引き続き、保護者の皆様もいっしょに取り組んでいただきたいと思います。